

# 防災教育実践報告

日 時 令和4年6月30日  
 5・6校時  
 対 象 第4学年1組  
 会 場 4年1組教室  
 授業者 境澤 幸倫

## 1 主題名 自然の中の水のゆくえ（1）地面を流れる水のゆくえ 【教科：理 科】

### 2 ねらいと教材

#### (1) ねらい


- ・粒の大きさと水のしみこみ方の違いを調べる実験を、条件制御しながら行い、結果をわかりやすく記録する。
- ・水のしみこみ方は、土の粒の大きさによって違いがあることを理解する。

#### (2) 教材

- ・わくわく理科4『啓林館』

### 3 指導略案

#### (1) 展開

時間	主な学習活動	・指導上の留意点等、児童の気付き発言等
導入 10分	1. 粒の大きさの違いを調べる。 ・畑の土は、小さい粒が多い。 ・砂場の砂は、いろいろな大きさの粒が混じっているね。 ・砂利は大きい粒がたくさんある。	・実際の触り心地やルーペを使って大きさを比べる。
展開 70分	土の種類と水のしみこみ方には、どんな関係があるのだろうか。 2. 水のしみこみ方について、予想する。 ・畑の土は小さい粒だからしみこんでいかないかも。 ・大きい粒がたくさんあると、水がしみこんでいくと思う。 3. 水のしみこみ方の違いを調べる実験装置をつくって、調べる。 4. 実験の結果を整理する。 ・畑の土→しみこむのに時間がかかった。 ・砂場の砂→水を注いでいる途中から、にごった水が出てきた。 ・砂 利→すぐに水が下へ。短い時間で水が出終わった。 5. 結果と関係付けて、結論をまとめる。	・粒の大きさによって、水のしみこみ方に違いがあるか考えさせる。  ・実験の結果を表にまとめる。 ・水の量の減り方に着目させる。
終末 10分	土のつぶの大きさが大きくなるほど、土に水がしみこみやすくなる。 6. 地面にしみこんだりする水は、ときに、災害を起こすことを知る。	・水がしみこんだ土地での災害について、タブレットで動画を見る。